

# 平成29年度 授業改善推進プラン

## 府中市立矢崎小学校

### 1. 矢崎小の児童の課題、伸ばしたい力について

○各教科の基礎的・基本的な学力を身に付けるために、授業のみならず、朝学習の時間もベーシックドリル等を有効に活用するとともに、家庭との協力の下、家庭学習を自主的に行う児童を育成する。

○各教科、総合的な学習の時間、道徳科において「問題解決的な学習」を推進し、「思考力・判断力・表現力」を身に付ける。具体的には、解決すべき問題や課題を捉え、自ら解決したり、教師や友達と共に解決したりする。解決に当たっては、既習事項を活用したり、新たに様々な手段を活用して調べたり、観察や実験、見学等を通して体験的に調べたりすることを重視する。また、問題解決の道筋(学び方)を各教科等に合わせて学ばせ、主体的、対話的に学んでいこうとする児童を育成する。

### 2. 校内研究課題

昨年度は、低学年は生活科、中・高学年は社会科、専科は図画工作に絞り、『自ら考え判断し、表現する子の育成』という研究主題の下、思考力・判断力・表現力の高まりを目指し、教員の問題解決的な学習における指導上の課題把握・向上と、児童に問題解決的な学習の進め方を定着させることをねらいとして研究を進めた。

今年度は平成30年度からの道徳の教科化に向け、「考え、議論する道徳」への転換を図るとともに、昨年度までの研究で培った思考力・判断力・表現力の更なる高まりを目指し、同様の研究主題で研究を進めていく。

「考え、議論する道徳」を実践していくために、以下に挙げる質の高い多様な指導方法を取り入れていく。

(1) 読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習  
(2) 問題解決的な学習  
(3) 道徳的行為に関する体験的な学習

(1)～(3)を基に様々な授業を展開し、友達と考えを交流し合う中で多様な感じ方や考え方に触れ、自らの考えを深めさせていきたい。

また、児童に合った資料選びや発問、話し合いの仕方なども工夫し、物事を多面的・多角的に考え判断したり、表現したりする力を伸ばしていきたい。